

お母さんを見習って

夕賀中学校

三年

武田

侑菜

ヒヨウ

ユウナ

みなさんは知っていますか？歩道と道路の

あの段差をあげるのに、ものすごく苦労する

人がいることを、私たちが当たり前のように

行えていることが、同じように当たり前に行

えずにいる人がいることを。

私が知ったのは幼稚園頃の頃、お母さんの

影響でした。お母さんは当時、看護師とし

て訪問看護の仕事をしていました。そんなお

母さんと一緒に過ごしているとき、私にと

当たり前のことができない人がいることに気

が付ける出来事がありました。

まず、お母さんと一緒に車で出かけていた

ときのことでした。おじいさんが、車椅子に

乗ったおばあさんを押し上げていたのです

が、横断歩道で道路と歩道の段差で車輪が

つかえてしまいいじいさんの力で、その段

差をあげることもできませんでした。すでに

信号は赤に変わってしまっていて、車はおじ

いさんたちをよけながら、進んでいました。
その姿を見つけたとたん、お母さんは車を
道路の脇に止め、おいいさんたちのもとへ
駆け出し、押すのを手伝ってあげました。
のとき、よけていた車の中には、無情にも
クラクシンをおいいさんたちに鳴らしてい
る車もありました。私は、お母さんの行動力
はすごいと思いました。仕事の影響も少しは
あるのかもしれないけれど、全く知らないお年
寄りの方であつても、困っている人を見つけ
たらすぐに駆けつけることができています。
今考え
てみても、そう簡単にはできないことだと思
います。
そして、お母さんの仕事について行つた
まのことで、何度か行つたことがあり、様
々の方に会いました。一番印象に残つてい
たのは、同じ年の女の子に会つたときのこと
です。彼女は、生まれた時から障害がありま
した。バットの土の上で、しゃべることが
できず、自分一人でご飯を食べることができ
ません。

せんでした。最初の頃は話しをしよと
ても、ウー、ウーとしか言。てくれ
うしてこんなには簡単なことか
うと思ふことが何度もありました。
日か会。ていと、楽しいことがあ。
ごく笑顔で手を叩きながら喜んで
彼女なりに、しゃべれない分精一杯
現してくれることに気が付きました。

道でもわた。たりするのに苦勞する
り、私たちが送。ているよ様な生活
い人もいます。私は、そんな人の
もねるよ。うに、お母さんのよ
と行動に移せて人を助けること
に好りたいと思います。